

つばた

議会だより

No. 163

2022.10.5

9 月会議

災害復旧費 準用河川藤又川等の復旧など 2

委員会審議 住吉公園屋内温水プールオープンに向けてなど 3

請願 2 件を審査 4

一般質問 9 人が登壇 管理者不明の橋についてなど 6

一般会計
補正予算

2億2550万円を可決（全員賛成）

特別会計1億401万円補正（全員賛成）

※金額はすべて1万円未満を切り捨てて記載しています

災害復旧費 4512万円を可決（8月4日の豪雨被災分）

準用河川藤又川等の公共土木施設・農林水産施設の復旧



上藤又配水管破損は既決予算内で応急措置

9月会議を5日から13日までの会議期間で開催した。

初日には町長から一般会計・特別会計補正予算、条例の制定などを含む13件、決算の認定10件の議案が提出され、町政全般について9人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て、決算議案を除く全議案を可決し、請願2件を採択した。続いて、人事案件1件が提出され、教育委員会委員の任命について同意した。さらに、委員会条例一部改正の議会議案1件、意見書2件を可決した。

議案第57号

指定管理者の指定

津幡町住吉公園屋内温水プール（アザレア）指定管理者に、株式会社エイムを令和4年10月1日から令和10年3月31日まで指定する。

（全員賛成）

住吉公園屋内温水プール オープンに向けて

3600万円

- 生涯教育課 -

Q 開業準備委託料の内容は。

A 主に会員募集に関するもので、チラシの作成と新聞折り込み、情報誌への掲載、SNSによる情報発信、新規入会時の特典となる物品の購入費などである。

Q 器具等の購入は。

A トレーニングマシン16機種のほか、フィットネススタジオ関係で使用するマット類等、心拍計等の健康器具類などを購入する。



▶ 工事が進むアザレア

予算決算、総務産業建設、文教生活福祉の常任委員会でも審議されたものについて、主なものを紹介します。

町職員の定年等に関する 条例改正について

- 総務課 -

Q 定年延長は何歳まで。
A 65歳まで段階的に引き上げる。

Q 再任用はできないのか。
A 定年が65歳まで延長される暫定期間として再任用できる。

特殊詐欺対策装置購入に 補助金を交付

10万円

- 生活環境課 -

Q 特殊詐欺対策装置とは。

Q 対象者は。

A 通話内容の録音や迷惑電話の着信拒否機能等を有し、固定電話に取り付けるタイプのほか機能内蔵型の電話機も対象となる。

A 町内に住所があり居住する65歳以上の方で、高齢者のみの世帯の代表者や、常態として日中に高齢者のみとなる世帯などである。

申請数が増加傾向！ 不妊・不育治療費助成事業

150万円

- 健康推進課 -

Q 4年度の実績は。

A 8月までに54件である。

Q 補正理由は。

A 申請数増加が見込まれ一般不妊治療15件、先進医療5件を増額する。

Q 妊娠率は。

A 4割程度が妊娠につながっている。

サンライフ津幡 長寿命化改修事業費 建築設計業務委託料等

1000万円

- 産業振興課 -

Q 長寿命化の内容は。

A 外壁や照明、空調設備等の改修工事で、施設の機能向上を図る。

Q レスリング場の計画は。

A 今回の設計案で設置場所を確定していきたい。



危険空家の除却を補助

30万円

- 生活環境課 -

Q これまでの実績は。

A 補助事業開始以来申請はあったが、除却の対象となるのは4年度の2件が初めてである。

Q 適用条件は。

A 危険度に応じた点数を付け、100を超えた場合に補助対象となる。

Q 除却が進まない理由は。

A 所有者が特定できない場合や、相続関係が不明確なため連絡が取れないことによるものが多い。



みなさまからの

請願2件を審査

9月会議で審査された請願の結果をお知らせします。

請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。

請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

採択

女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部

津幡地区員

紹介議員

沢山 武良
道下 政博
(全員賛成)

委員会の主な意見

男女共同参画の取り組みとして、地方にも女性が進出していく社会を形成していくということであり、女性をもつと育てようということである。国の方向性と同じである。

採択

地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部

津幡地区員

紹介議員

沢山 武良
道下 政博
(全員賛成)

委員会の主な意見

災害に強い国土をつくるに当たって必要な制度である。半農半Xの農業人材の創出や市民農園の普及拡大等、国民が農地の保全と活用のための活動に参入しやすい環境の整備と予算の拡充は必要である。

※半農半Xとは…持続可能な農ある小さな暮らしをしつつ、個性や能力、特技などを社会のために生かし、天職(X)を行う生き方や暮らし方で、半Xの数や業種に制限はない。

下

採択された2件の請願は意見書を総務大臣ほか関係機関に送付しました

報告

◎7月4日 視察受入

福井県大野市議会

議会運営委員会

議案審査(予算決算常任委員会)、通年議会、タブレット端末の運用について

◎7月8日 視察受入

石川県野々市市議会

議会改革・活性化

特別委員会

通年議会の取り組みについて

◎8月2日 研修会

石川県町村議会議長会

議員・監査委員合同研修会

「勝つためにしてきたこと」

講師

元WBA世界ジュニア

フライ級チャンピオン

具志堅 用高氏

◎8月19日 研修会

河北郡市議長会

議員研修会

新石川県立図書館視察



◎8月24日 研修会

石川県町村議会議長会

議長・副議長・委員長研修会

「議員報酬・政務活動費の

充実に向けた論点と手続き」

講師

全国町村議会議長会

議事調査部長

飯田 厚氏

採決結果



議決結果

9月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対

議長は採決に加わらない。「－」

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結 果
議 案	小町 実	森川 章	竹内 竜也	八十嶋孝司	西村 稔	荒井 克	森山 時夫	角井外喜雄	酒井 義光	塩谷 道子	多賀 吉一	向 正則	道下 政博	谷口 正一	洲崎 正昭	河上 孝夫	(賛成：反対)
議 案 第 47 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 48 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 49 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 50 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 51 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 52 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 53 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 54 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 55 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 56 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 57 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 58 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 案 第 59 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
請 願 第 5 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (15:0)
請 願 第 6 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 (15:0)
同 意 第 4 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 (15:0)
議 会 議 案 第 7 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 会 議 案 第 8 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議 会 議 案 第 9 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)

議案 13 件 請願 2 件 同意 1 件 議会議案 3 件

- 議案 47 令和 4 年度一般会計補正予算
準用河川藤又川等の公共土木施設等の復旧他
(2 億 2550 万円の増) 2・3 ページに紹介
- 議案 48 令和 4 年度町国民健康保険特別会計補正予算
令和 3 年度繰越金を基金積立金他へ (4050 万円の増)
- 議案 49 令和 4 年度町後期高齢者医療特別会計補正予算
令和 3 年度繰越金を後期高齢者医療広域連合納付金へ
(631 万円の増)
- 議案 50 令和 4 年度町介護保険特別会計補正予算
令和 3 年度繰越金等を基金積立金他へ (5414 万円の増)
- 議案 51 令和 4 年度町バス事業特別会計補正予算
令和 3 年度繰越金を基金積立金へ (305 万円の増)
- 議案 52 町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
町職員の定年を年齢 65 歳に延長するなど
3 ページに紹介
- 議案 53 町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
町職員の育児休業の基準を変更するなど
- 議案 54 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う
関係条例の整理等に関する条例
定年延長に伴い、職員の給与に関する基準
を変更するなど
- 議案 55 町税条例等の一部を改正する条例
個人町民税の合計所得金額の規定を変更するなど
- 議案 56 町本社機能立地促進のための固定資産税の特例に
関する条例の一部を改正する条例
期間を令和 6 年 3 月 31 日に延長するなど
- 議案 57 指定管理者の指定について
住吉公園屋内温水プールの指定管理者を
株式会社エイムとする
2 ページに紹介

- 議案 58 町道路線の認定について
潟端 80 号線
潟端ね 41 番地 14 地先から潟端ね 41 番地 8 地先まで
- 議案 59 財産の取得
町小中学校の学校給食用食器一式を松村物産株式会社
から取得する
- 請願 5 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を
求める意見書の提出を求める請願
全国どこに住んでいても、また育児や介護など時間的に
制限があっても、デジタルスキルを取得し、テレワーク
などを活用し得る環境や支援体制の整備を進めるなど
4 ページに紹介
- 請願 6 地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める
意見書の提出を求める請願
地方自治体と民間企業等との連携を強化しながら、
農業人材の創出や市民農園の普及拡大等、国民が
農地の保全と活用のための活動に参入しやすい環境の
整備と予算の拡充を強く求める
4 ページに紹介
- 同意 4 町教育委員会委員の任命につき同意を求める
越村崇氏の任命に同意する
- 議会議案 7 町議会委員会条例の一部を改正する条例
重大な感染症のまん延又は、大規模な災害等の発生等
により開会する場所への参集が困難と認める場合は、
オンラインを活用して委員会を開催できるなど
- 議会議案 8 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を
求める意見書
- 議会議案 9 地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める
意見書

町政を問う 一般質問



管理者不明の橋について

八十嶋 孝司 議員

Q 設置者が分からず、誰が管理するか決まっていない管理者不明の橋、いわゆる勝手橋が各地で見つかっており、問題視されている。

国は事故につながる懸念から自治体に設置者の把握を促した。

通路目的で古い橋が多く、管理者不明の橋の現況の把握と財政面での支援を含め、今後の対策は。

A 当町の正確な箇所数の把握と架橋の経緯等を調査し、適切な処置を講じていく。

橋の管理に当たっては、点検や補修の費用が課題となる。点検、補修や解体の費用支援については、個別に相談し、財源などを検討する。



Q 7年度をめどに公立中学校の部活動が土日休日、また時期を見て平日へと段階的に地域へ移行される。

スポーツ協会などとの協議、検討委員会の立ち上げなど、生徒にとって幅広く安心して活動できる環境整備を図る必要がある。

今後の方向性を示せ。

A 部活動の地域移行は、地域によって実態が大きく異なり、中学生や保護者のニーズへの対応、指導者の確保や財源の確保など、乗り越えなければならぬ課題が多い。

国の支援策なども注視し、当町の実情に合った方法で、可能な競技から移行していきたい。



民生児童委員の負担軽減を

荒井 克 議員

Q 民生児童委員の担い手不足が全国的に問題となっている。

当町では、委員一人当たりの担当世帯が多く、受け持ちエリアも広いため、大きな負担となっている。

委員への負担軽減策についての考えは。

A 委員の増員については県に要望しながら対応している。

今後は、町民生児童委員協議会と連携し、地域活動に必要な情報の共有を図る研修会等を開催し、活動しやすい環境を構築することで負担軽減につながる体制となるよう努める。



Q 加賀爪区内において、地籍調査済未登記地域がある。過去の県道拡張工事の際、町指導で取得した代替用地が、いまだ未登記のまま進展がない。

昭和60年から公図の訂正や登記に関する依頼を申請し続けているが、進捗状況と今後の対応を示せ。

A 現在、法務局で最終段階となる登記の書き換えに向けた手続きを行う過程で、関係法令に基づき内容の精査をしているところであり、最短でもあと3カ月かかる見通しであると連絡を受けている。

登記未了地区については早急に解消すべき課題と捉えていることから、各関係機関とさらなる調整を図り、今後速やかな登記完了に努める。

町政を問う 一般質問



野良猫の不妊・去勢手術に補助せよ

酒井 義光 議員

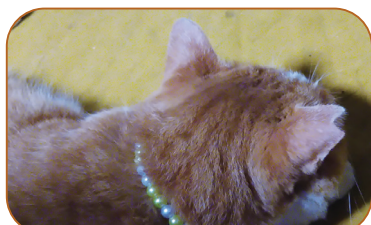
Q 深夜の鳴き声など、野良猫に対する苦情が年々多くなっている。

既に野良猫の不妊・去勢手術費用を負担してTNR活動に取り組んでいる町会もある。

県内の4市1町では、自治体内に生息する猫を対象に補助金を交付しているところもあると聞く。当町でも補助せよ。

A 自発的・継続的な地域猫活動を後押しするため、先進自治体の支援内容などを参考に、補助制度の創設に向け、検討する。

※TNR活動とは：野良猫を捕獲する、不妊・去勢手術する、元の場所に戻す、という一連の行動を、それぞれの英語の頭文字をとってTNR活動と呼ぶ。



▲さくら耳は不妊・去勢手術済みのしるし

Q 通学路の中には、屋根雪が落下し危険な歩道や、道路幅員が狭く、自転車通学の生徒の安全が確保できていない箇所もある。

以上の内容も安全点検項目に含め、危険箇所の安全対策を図れ。

A 危険箇所については、各学校において通学路危険箇所として把握するよう指導助言する。その後、報告のあった危険箇所については、点検結果検討会において国、県の道路管理者や警察等の交通管理者と町の関係部署とともに、安全対策について検討したい。



学校トイレの洋式化を進めよ

森川 章 議員

Q 町内全小学校を確認した結果洋式トイレ設置率の低い学校があった。

各家庭における洋式トイレの普及が進んでいることや、バリアフリー化・災害対策の強化などの観点からも、学校トイレの洋式化を進めよ。

A 洋式化については調査済みで改修について年度計画を立て事業実施している。

7年度までに第一段階として洋式化70%に満たない学校の整備を優先している。

その後は、文科省の目標95%に向け、再度事業手法や財源について検討する予定である。



Q 学校のトイレ掃除に、業者などを定期的に入れるべきだ。

A 児童生徒や教職員の日常の清掃だけでは行き届かない部分もあるかもしれないので、今後、定期的に施設の状態を確認し、専門業者による清掃も検討したい。

Q 野良猫の不妊・去勢に対して、町としての補助を検討せよ。

A 補助制度の創設に向け検討する。

Q デジタルサイネージ（電子看板）を活用し町のさらなる情報発信を。

A 誰もが簡単に必要な情報を得られるよう検討する。

Q 祭り文化の映像記録を活用し、文化の継承を図れ。

A 当町で撮影した既存の映像は、各団体の方々に配布し保存に努めている。

町政を問う 一般質問



河愛の里キンシユールについて

小町 実 議員

Q 関東・関西方面などから修学旅行の生徒たちを呼び込むための方策は。

A 農業体験の拠点としてバーベキュー場向かいの空き家を購入、改修し、自然と触れ合いを楽しむ体験メニューを充実させる。

さらに修学旅行の誘致に向けて全国の学校関係や旅行代理店へのパンフレット送付を考えている。

Q 小さな子どもたちが遊べる遊具の設置や運動場の残り半分の芝生化してボール遊びができるようにならないか。

A 今後はグラウンドの状況も調査し、検討したい。



Q キンシユールへの経路が分かりやすい案内看板の設置を。

A 主要な幹線道路上の分岐点に電柱広告や看板等の設置が可能か調査検討する。

Q 防災訓練の実施に当たっては地域コミュニケーションづくりのためにも来年度の開催を工夫し、実施せよ。

A 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、来年度はアフターコロナ、ウィズコロナへの対応も踏まえ、多くの方が参加して訓練ができるよう検討する。

Q 地域の防災リーダーや防災士の人材育成の取り組みは。

A 防災士の育成を県とともに継続して行っており、当町ではこれまでに180名の防災士が育成されている。



公立病院経営強化プランについて

竹内 竜也 議員

Q 公立病院経営強化プランの策定が必要である。河北中央病院の進捗状況は。

A 検討会を立ち上げ現状把握をしている。強化プラン策定に着手したばかりの状況であり、5年度内にプランを完成させる。

Q 新興感染症拡大時、転用可能な施設整備や専門人材の確保などが求められる。河北中央病院の方針は。

A 施設整備については、病室に簡易陰圧装置、低濃度オゾン発生器を既に用意し感染対策を行っている。また、感染管理認定看護師資格を1名が取得し今後さらに人材育成に力を注ぐ。



Q 町防災総合訓練におけるデジタル技術やICTの活用は。

A 毎年度、県総合防災情報システムの操作訓練を行っている。今後、他自治体の先進的取組事例等も参考に研究したい。

Q 防災意識高揚のきっかけとして、小さな子どもが参加できる取り組みも必要ではないか。

A 防災について学ぶ夏休み親子町政バスの開催や、地域の防災訓練の際には避難訓練に親子での参加を呼び掛ける。

Q 不良な生活環境として問題があるごみ屋敷への対応は。

A ごみがたまる前に発見することが重要であり地域と十分な連携を取り、ごみ屋敷予備軍の早期発見に努める。

Q 教職員の時間外勤務時間の減少と逆行し、持ち帰り業務が増加している事実はないか。

A 各学校の管理職が把握している範囲では、定時退校時刻の設定が持ち帰り仕事の増加につながったという実態は確認されていない。

町政を問う 一般質問



乳幼児医療費助成の無償化により 浮いたお金の使い道は

塩谷 道子 議員

Q 5年度から県が、乳幼児医療費の助成対象を拡大することになり、自己負担額が無償化となる。

県からの補助金が約800万円繰り入れられ、町の負担が軽減される。国保税の子どもの均等割を半額にすることはできないか。

A 町の収入では県補助金が約800万円増えるが、自己負担を無償化することで支出が約2500万円増える。さらなる当町の費用負担も生じることから財源が浮くわけではない。

なお、国民健康保険に加入している未就学児に係る均等割の2分の1を軽減して4月から施行されている。



Q 電気・ガス・燃料費は3年度から値上がりをはじめた。国より、原油価格・物価高騰等総合緊急対策としての臨時交付金の拡充が自治体へ通知されている。町では、財政的追加措置も含めて医療機関・介護事業所への財政支援を行え。

A 原油価格の高騰による経費の増加を価格に転嫁できない医療機関・介護事業所を含めた町内事業者を支援するため、事業に使用する車両の燃料費について支援金を交付する。また、地方創生臨時交付金を活用し、本年度も水道基本料金等を2カ月分免除することとして、支援を行っている。

今後は、情勢を見ながら、交付金の活用と併せて、必要であれば運営支援について検討する。



町民に対しての教育のあり方について

西村 稔 議員

Q 安らぎや生きがい、家庭の大切さを重視していく教育こそ今後の課題だと思う。

新型コロナウイルス感染症まん延によって人々の交流が大きく制限される中で、津幡町民の心の支え、生きがいを持てる町にするため、どのような対策を進めるのか。



A 町教育委員会では、基本理念のふるさと「つばた」を愛し未来を拓く心豊かな人づくりをもとに年度ごとに教育方針を定め、7つの基本目標ごとにその年度の重点施策を決め取り組んでいる。

近年、特に力を入れている事業の津幡町民大学講座では、本年度も16講座を開設し学習の機会を提供している。

今後も町民の皆様には生涯を通じて豊かな学びの機会を提供できるよう、学びへのニーズの把握に努め、社会の変化への対応なども考慮しながら生涯学習関係の事業を進めて行く。

町政を問う 一般質問



帯状疱疹予防のワクチン接種に補助を

道下 政博 議員

Q 帯状疱疹を発生する高齢者が急増している。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれており、予防接種費用が高額なことから町の補助を求める。

A 任意予防接種である帯状疱疹の予防接種については国の審議会において、定期接種化の議論が行われており、国の動向を注視している。

また、接種を希望する方の負担軽減につなげられるよう、町単独でも5年度から新たな補助対象の予防接種とする方向で準備したい。



▲品川区で追加された防災公式 LINE メニュー(参考)

Q 前立腺がんの手術後は、頻尿や尿漏れの症状が起きやすく尿漏れパッドを着用することが多くなっている。

A 赤ちゃんのオムツ替えをするお父さんや、LGBTなど性的少数者への配慮にもつなげるため、町の公共施設にサニタリーボックスの設置を提案する。

A 役場庁舎内の多目的トイレにサニタリーボックスを設置している。

町の公共施設の男子トイレへの設置は施設ごとに適切な対応を考える。

Q 小中学生の悩み相談にタブレット端末を利用できるように。

A 各学校に周知し効果的に活用できるように取り組みを進める。

Q 防災意識高める情報を公式LINEにメニュー追加せよ。

A 提供が可能かどうか研究する。

Q マイナポイント第2弾の広報の徹底を。

A 普及につながる効果的な取り組みを実践する。

議会インターネット中継・録画

本会議の映像をインターネット（YouTube）でご覧いただけます。



スマホでも視聴できます

会議録の閲覧

議会の会議録は町議会ホームページでご覧いただけます。



スマホで議会だより

App Store または Google Play からダウンロードしてください。



マチイロ

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
 - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
 - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。

各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

感染症の影響を受けた 事業の継続に支援

小規模事業者事業継続等支援事業費 7351万円を可決



7月19日に7月会議を開催し、一般会計・簡易水道事業会計・水道事業会計の補正予算と請負契約締結の議案合わせて4件が提出された。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。

○請負契約の締結
津幡町福祉教育複合施設
改修工事（建築）
1億780万円
株式会社 表組

7月会議 採決状況一覧

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない。「－」



議決結果

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
議案	小町実	森川章	竹内竜也	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫	(賛成：反対)
議案第43号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議案第44号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議案第45号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)
議案第46号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (15:0)

議案3件 請負契約1件

議案43 令和4年度一般会計補正予算

議案44 令和4年度簡易水道事業会計補正予算

議案45 令和4年度水道事業会計補正予算

議案46 請負契約の締結

水道料金の基本料金2ヵ月分免除他（1億6724万円の増）

水道料金免除に伴う減収・一般会計補助金の増（収支0円）

水道料金免除に伴うシステムの改修他（40万円の増）

福祉教育複合施設改修工事を株式会社表組と契約

生け花教室



講師 **ながた ちか**
長田 千佳

また、生け終わってからの雑談も楽しみの一つです。月に2回、お花におしゃべりにいらつしやいませんか。

《ミニインタビュー》

Q これからどんな町になってほしいですか？

A 若いお父さん、お母さん、中学生、高校生の生の声を聞いて住み良い町づくりに生かして欲しいと思います。

Q 津幡町の好きなスポットはどこですか？

A 森林公園は他所の方々に誇れる場所です。大自然の中を歩いて森林浴を楽しみましょう。熊さん出てこないでね。

このサークルは50年以上続いております。北中条の奥村先生が始められ、私は平成13年に引き継ぎました。

古流の基本型の盛花（自由花）を生け、12月には万年青（おもと）を正月用に生けます。「玄関にお花がないと、あいそもないけど、お花があるとあいそらしいわ」と言って頂き長年通って下さっている方もいらつしやいます。嬉しい言葉です。同じ材料を使って生けても出来上がりに同じ花はありません。各人の個性が出て仕上がりを楽しめます。

◆活動場所と時間

中条公民館

毎月第2・4火曜日

19時30分～21時

◆連絡先

☎ 288 2647

(長田)

ザ・ロード・オブ議会改革

議会における委員会は、議員および町執行部が一堂に会し、対面で町政課題や対応策を議論することが原則である。

しかし、新型コロナウイルス感染症などの重大な感染症のまん延や大規模災害等の発生時には、参集が困難になることが考えられる。

それを想定し、導入済みのタブレット端末を活用することによって、オンラインでの委員会出席を可能とするための条例改正を議会議案として提出した。

参集困難な緊急事態においても、議会機能を停滞させることなく活動を継続するための方法として、オンラインを活用した会議の開催について検討し、決定したものである。

(議会改革検討特別委員会)



議会傍聴のお知らせ

12月会議は、12月5日（月）10時からの予定です。

■受付日時

12月5日（月）午前9時～

■受付場所

役場庁舎4階 傍聴受付

◎日程は変更になる可能性がありまので、詳しくは町議会ホームページをご覧ください。左記までお問い合わせください。

(問合先)

議会事務局

TEL 288 6410

表紙の風景

住吉こども園の子どもたちが、緑鮮やかな芝生の園庭で遊びました。



表紙の題字は

萩野台小学校6年
長谷川 結愛さんの作品です。



萩野台小学校は、1年生から6年生全員仲が良く、いろいろなことにみんなで力を合わせて、全力で取り組んでいます。自然がいっぱいでたくさん生き物とふれあって過ごしています。

